



『トトロの生まれたところ』
宮崎駿/監修 スタジオジブリ/編
岩波書店 2018年5月



残暑が続いています。そんな日々は、森林の木蔭の涼しさを想像します。

森はトトロが生まれたところ。トトロは、どんな森で生まれたのでしょうか。この本は、映画「となりのトトロ」の原画とともにその場所を案内しています。

「となりのトトロ」の制作で、作者の宮崎駿さんのイメージの源となった場所は、ご自身が住む所沢です。「となりのトトロ」が制作された30年前。そこには日本の原風景がありました。日本は、もともと本当にきれいなところでした。どこにでも、農村の伝統的なふるさとの風景がありました。四季の移ろいや自然の美しさを感じることができました。雑草も素朴で可愛い花を咲かせます。ところが、開発が進み出してだんだんそうはいかなくなってきたのです。しかし、周りがそのような状況にあっても、所沢は多くを残していました。宮崎監督は、自宅近辺をお散歩して偶然巡り合った風景からイメージをどんどん膨らませてイメージボードに起こしていきました。三鷹から延びる、両側をケヤキで覆われた細くグネグネした道は、ネコバスがやって来る道として登場します。サツキとメイがお見舞いに行くシーンやお父さんをバス停にお迎えに行くシーンなども実体験です。そんな、トトロが生まれたところ、きれいな森をイメージして涼しく過ごしましょう。

※図書館は、ジブリ作品-図書（英語もあります）、コミック、DVD、CD-を数多く所蔵しています！

